

令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	人文科学概論(コミュニケーションを含む)	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年A組	
担当教官名	吉川 三恵子	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	30時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	対人コミュニケーションの基礎と方法を学びます。また、文学作品(詩・小説・古典・随想)に親しみ、日常の言語生活に活用することについて学びます。	
到達目標	1 日常の言語活動(聞く・話す)を通して、コミュニケーション能力の向上を図れる。 2 文学への関心を寄せ、医療者としての感性豊かな自己形成を図れる。	
授業計画	前期計(15週)	前期計14時間
	1 オリエンテーション、人文科学概論の内容と目的 2 コミュニケーションⅠ (1) 挨拶について (2) 自己紹介をする (3) 他己紹介をする/インタビュー (4) 言葉遣い・敬語法 3 文学に触れる(詩)「金子みすゞ」他「赤い鳥運動」の詩人 ※前期学習のまとめ	2 1 2 4 3 1 1
授業計画	後期計(15週)	後期計16時間
	4 古典に触れる「平家物語」無常観について 5 医療面接を古典に探る 6 医療面接とコミュニケーションⅡ (1) 方言 (2) 身だしなみ (3) 環境の整備 7 医療に求められる態度 (1) 傾聴と態度 (2) 傾聴に必要な態度の実際 (3) 傾聴を実現させる技法 ※後期学習のまとめ	5 2 1 1 1 1 2 2 1
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	筆記試験(前期・後期)、授業で課した課題・創作への取組みを総合して評価。	
履修上の留意点	中間試験は実施しません。	
自己学習の進め方	毎回の授業後に、振り返り学習をしてください。 文学に触れた授業では、創作や課題提出に、意欲的に取り組んでください。	
使用教科書	改訂版 鍼灸臨床における医療面接、丹澤 章八著、医道の日本社、2019年	
参考書/参考資料	必要に応じて配付します。	

令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	社会科学概論	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年A組	
担当教官名	吉井 顕穂	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	30時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	社会保障の歴史と役割、また日本の社会保障制度を構成する社会保険、公的扶助、社会福祉各制度のしくみについて学びます。	
到達目標	社会保険、公的扶助、社会福祉について、各制度の基本的なしくみや成立の背景、制度の相違等を理解し、説明できるようになる。	
授業計画	前期計 (15週)	前期計14時間
	1 オリエンテーション 2 社会保障とは 3 社会保障の源流 4 社会保障の誕生と福祉国家の成立 5 社会保障の転換と再編 6 日本における社会保障の歴史 7 社会保障の財政 8 社会保険制度の概要 9 医療保険制度の概要 ※前期学習のまとめ	1 1 2 2 1 2 1 1 2 1
授業計画	後期計 (15週)	後期計16時間
	10 医療保険の種類 11 医療保険の給付 12 年金保険制度の概要 13 年金給付の仕組み 14 介護保険制度 15 公的扶助の沿革 16 生活保護制度 17 社会手当 18 社会福祉とは 19 社会福祉の理念 20 社会福祉に係わる組織 21 「障害」とは 22 障害者福祉に関する法律 23 障害者総合支援法	1 1 1 1 1 1 1 1 2 1 2 1 1
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、各学期末に行う期末試験(筆記試験)の平均点を学年末評価とします(小数点第1位は切り捨て)。	
履修上の留意点	成績評価は期末一斉試験期間に実施し、中間試験は実施しません。	
自己学習の進め方	1 授業の前にテキストを読んで予習をしておいて下さい。 2 復習時もテキスト読みを励行し、内容の理解に努めて下さい。 3 疑問に思ったこと、よく理解できなかったことについては、積極的に質問し、解決するよう心がけて下さい。	
使用教科書	教官作成のテキスト(墨字・点字・データ版)を使用します。	
参考書/参考資料	必要に応じて配布します。	

令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	自然科学概論	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年A組	
担当教官名	桑崎 哲治	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	30時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	1 細胞に関する歴史と基本的概念を学びます。 2 原子の構造と化学結合の基本的概念を学びます。	
到達目標	理療教科における学習に必要な自然科学の基礎的な概念、原理、法則等を理解して説明又は記述できること。	
授業計画	前期計 (15週)	前期計15時間
	1 オリエンテーション 2 細胞の発見と顕微鏡 (1) 顕微鏡の発明 (2) 細胞の発見 (3) 細胞についての研究 (4) 細胞説 (5) 顕微鏡光学顕微鏡と電子顕微鏡 (6) 顕微鏡の中の長さの単位 (7) 細胞と顕微鏡 ※前期のまとめ ※前期末試験講評	0.5 3 2 2 1 2 2 1 1 0.5
	後期計 (15週)	後期計15時間
	(8) 細胞の分画と蛋白質の分離 3 細胞の分類 (1) 細胞とは (2) 原核細胞と真核細胞 4 原子 (1) 原子の構造陽子、中性子、電子 (2) 元素記号、原子番号と質量数 練習問題 (3) イオン 価電子、陽イオンと陰イオン ※後期のまとめ ※後期末試験講評 5 化学結合 (1) イオン結合 (2) 共有結合	2 1 1 1 1 1 1 2 1 0.5 2.5 2
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	理療教育実施細則24に基づき、各学期末に行われる期末試験(筆記試験)の平均点(小数点第1位は切り捨て)を学年末評価とします。	
履修上の留意点	中間試験は実施しません。	
自己学習の進め方	講義は事前に配布する資料を用いて進めます。必ず資料を読んで、講義内容を把握して講義に臨んでください。 講義後は配付資料を精通して復習し、内容理解に努めてください。 自己学習しても理解できないところがあれば、次の講義までに質問してください。	
使用教科書	使用しません。章ごとに資料と図を配布します。	
参考書/参考資料	細胞の世界、ベッカー一他著 村松正実他監訳、西村書店、2005年	

令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	保健体育	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年A組	
担当教官名	高木 富士男	
修得単位数	1単位	
年間授業時数	30時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	運動・スポーツにかかわる基本的な知識と技術について学びます。また体力測定を通して自身の身体状況を客観的に捉えることについて学びます。	
到達目標	1 運動・スポーツを生涯にわたって継続していく重要性を理解して、実践することができる。 2 運動・スポーツ実践の基となる自身の体力の現状を客観的に把握できる。	
授業計画	前期計 (15週)	前期計15時間
	1 オリエンテーション 2 体力測定(筋力、柔軟性、敏捷性、筋持久力) 3 身体局所の動き(ラジオ体操Ⅰ) 4 ゴールボール 5 フライングディスク(ディスリート5) 6 サウンドテーブルテニス 7 トレーニング(自重、機器)	1 2 2 4 2 3 1
授業計画	後期計 (15週)	後期計15時間
	8 身体局所の動き(ラジオ体操Ⅱ) 9 フロアバレーボール 10 ボッチャ(団体) 11 陸上競技(歩、走) 12 ストレッチ(動的) 13 体力測定(持久力) 14 グランドゴルフ	2 5 2 2 1 2 1
実務経験の有無 その活かし方	有 運動指導員 障がい者スポーツセンターでの運動・スポーツ指導経験を活かして、トレーニングやストレッチを紹介し、1年次履修科目に関連する知識の幅を広げます。	
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価(何れも実技試験及び口頭試験)の平均点を学年末評価とします。(小数点第1位は切り捨て)	
履修上の留意点	中間試験は実施しません。天候により使用する体育施設を変更する場合があります。	
自己学習の進め方	1 ラジオ体操第1やラジオ体操第2の放送時刻を把握し、「ラジオ体操第1・第2」の動きを学習してください。 2 既習の内容については、体育的行事の活用や自己学習を含めて振り返り学習してください。 3 事前・事後の学習は欠かさないようにしてください。	
使用教科書	なし。(必要に応じて資料等を配布します)	
参考書/参考資料	障がいのある人のスポーツ指導教本、日本障がい者スポーツ協会著、ぎょうせい、2020年 全国障害者スポーツ大会競技規則(解説付)、日本障がい者スポーツ協会著、日本障がい者スポーツ協会、2022年	

令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	解剖学 I (運動学を含む)	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年A組	
担当教官名	水元 ひろみ	
修得単位数	4単位	
年間授業時数	120時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	骨系、筋系、神経系の位置・形態・構造とその運動について学びます。	
到達目標	骨系、筋系、神経系の位置・形態・構造を理解して、人体や模型上で確認できること、及びそれらの運動の仕組みについて説明、又は記述できること。	
授業計画	前期計 (15週)	前期計60時間
	1 オリエンテーション 2 人体の区分と方向 3 運動器系(骨格系) (1) 総論 (2) 脊柱 (3) 胸郭 (4) 上肢の骨格、上肢の関節と運動 (5) 下肢の骨格、下肢の関節と運動 (6) 頭蓋骨 4 運動器系(筋系) (1) 総論 (2) 体幹1. 体幹の筋、運動、局所解剖	1 2 36 2 19
	後期計 (15週)	後期計60時間
	4 運動器系(筋系) (2) 体幹1. 体幹の筋、運動、局所解剖 (続き) (3) 上肢1. 上肢の筋、運動、局所解剖 (4) 下肢1. 下肢の筋、運動、局所解剖 (5) 頭頸部1. 頭頸部の体表および局所解剖 5 解剖見学実習 冬期休業中の支援期間中に解剖見学実習を実施する予定です。 6 神経系 (1) 神経系の構成 (2) 中枢神経系 (3) 伝導路 (4) 末梢神経系 7 基礎運動学 (1) てこと滑車 (2) 人体の重心と姿勢	22 34 4
実務経験の有無 その活かし方	有 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師 鍼灸マッサージ治療院での施術経験を活かして、現実の施術機会に用いられる骨系、筋系、神経系のポイントを紹介して、実技科目に応用できる知識を養います。	
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価(何れも筆記試験)の平均点を学年末評価とします(小数点第1位は切り捨て)。	
履修上の留意点	6月、11月の2回、形成的評価のため中間試験を実施します。	
自己学習の進め方	解剖学は2年、3年で履修する科目の基礎となる科目です。また、あん摩や鍼の実技でも解剖学の知識は重要となります。授業が終わったら必ずその内容を復習してください。教科書をよく読み込み十分に理解しておくことが大切です。また、わからないことがあればそのままにせず質問するようにして下さい。	
使用教科書	解剖学<第2版>テキスト版、図譜版、河野邦雄他著、医歯薬出版、2021年	
参考書/参考資料	適宜配布します。	

令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	解剖学Ⅱ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年A組	
担当教官名	今泉 正博	
修得単位数	3単位	
年間授業時数	90時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	総論、循環系、呼吸系、消化系、泌尿系、生殖系、内分泌系、感覚系の位置・構造・機能について学びます。	
到達目標	総論、循環系、呼吸系、消化系、泌尿系、生殖系、内分泌系、感覚系の位置・構造・機能を理解して、人体や模型上で確認できること、及びそれらの構造について説明、又は記述できること。	
授業計画	前期計 (15週)	前期計42時間
	1 オリエンテーション 2 人体の構造 3 循環器系 4 呼吸器系 5 消化器系	1 10 10 10 11
授業計画	後期計 (15週)	後期計48時間
	5 消化器系 (続き) 6 泌尿器系 7 生殖器系 8 内分泌系 9 感覚器系 10 解剖見学実習	3 10 10 13 10 2
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価(何れも筆記試験)の平均点を学年末評価とします(小数点第1位は切り捨て)。	
履修上の留意点	6月、11月の2回、形成的評価のため中間試験を実施します。	
自己学習の進め方	解剖学は2年、3年で履修する科目の基礎となる科目です。また、あん摩や鍼の実技でも解剖学の知識は重要となります。試験前の学習でだけで点数がとれたとしてもそれは自分自身の知識とはならず、忘れてしまい、そのことは他の学習や実技にも大きく影響します。授業が終わったら必ずその内容を復習してください。教科書をよく読み込み十分に理解しておくことが大切です。また、わからないことがあればそのまま放置せず質問するようにして下さい。	
使用教科書	解剖学<第2版>テキスト版、図譜版、河野邦雄他著、医歯薬出版、2021年	
参考書/参考資料	まとめの資料を作成し配布します。	

令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	生理学 I	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年A組	
担当教官名	田端 里美	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	安全な施術をするためには人体の構造と生理機能を理解することが重要です。本講義では基本となる正常な人体の生理機能について学習します。	
到達目標	生理学の基礎的な専門用語を理解し、人体を構成する細胞および器官の働きについて簡潔に説明出来る。	
授業計画	前期計 (15週)	前期計30時間
	1 オリエンテーション	1
	2 生理学の基礎	4
	3 循環 (1)血液の組成と働き (2)止血 (3)線維素溶解 (4)血液型 (5)心臓血管系 (6)心臓の構造と働き (7)血液循環 (8)循環調節 (9)リンパ系	7 7
4 呼吸	10	
※前期中間試験	1	
後期計 (15週)	後期計30時間	
5 消化と吸収	9	
6 代謝	10	
7 体温	10	
※後期中間試験	1	
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価(何れも筆記試験)の平均点を学年末評価とします(小数点第1位は切り捨て)。6月、11月の2回、形成的評価のため中間試験を実施します。	
履修上の留意点	1 生理学は2年、3年で履修する科目の基礎となります。また、あん摩や鍼灸の実技でも重要となりますので、他の科目と関連付けて学習しましょう。 2 試験前の学習だけで点数がとれたとしてもそれは自分自身の知識とはならず、忘れてしまい、他の学習や実技にも大きく影響しますので、日頃から少しずつ勉強しておくことが大切です。	
自己学習の進め方	1 予習では、教科書を読んでわからない漢字の読み方や意味を調べましょう。 2 授業が終わったら必ずその内容を復習しましょう。 3 わからないことがあればそのまま放置せず質問するようにしましょう。	
使用教科書	人体の構造と機能 生理学<第3版>、盲学校理療科用図書編纂委員会編、医歯薬出版、2014年	
参考書/参考資料	授業で必要に応じて配布または紹介します。	

令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	関係法規	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年A組	
担当教官名	青柳 達也	
修得単位数	1単位	
年間授業時数	30時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師(以下、施術者と記す。)として、必要な法律の知識及び関連する医療・公衆衛生・社会福祉法規について学習します。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 あはき法に規定する免許の要件・免許証の交付・名簿の登録などについて、説明及び記述ができる。 2 施術者としての業務に関する規定について、説明及び記述ができる。 3 医療法規・公衆衛生法規・社会福祉法規の概要について、説明及び記述ができる。 	
授業計画	前期計 (15週)	前期計15時間
	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション、あん摩マッサージ指圧、はり、きゅうの沿革 2 あはき師における免許行為 3 免許の要件 4 免許証の交付・取り消し・再交付・再免許 5 名簿の登録・変更・消除 6 施術の制限及び禁止行為 7 施術所の開設・休止・再開・廃止の届け出 8 滞在地での出張業務 9 施術所の業務停止・使用制限 10 施術所の設備 11 守秘義務について 	<p>1</p> <p>1</p> <p>2</p> <p>1</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>1</p> <p>1</p> <p>1</p> <p>2</p> <p>1</p>
授業計画	後期計 (15週)	後期計15時間
	<ol style="list-style-type: none"> 12 広告の制限 13 罰則 14 医療法・医師法の概要 15 薬剤師・保健士・助産師・看護師法の概要 16 地域保健法・健康増進法の概要 17 介護保険法の概要 18 児童福祉法・身体障害者福祉法の概要 19 老人福祉法の概要 20 精神保健福祉法の概要 21 生活保護法の概要 	<p>3</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>1</p> <p>1</p> <p>1</p> <p>1</p> <p>1</p> <p>1</p>
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	<p>医療教育実施細則に基づき、前期末評価・後期末評価(いずれも筆記試験の平均点)を学年末評価とし、60点以上(小数点1ケタ切り下げ)で単位取得となります。</p>	
履修上の留意点	<ol style="list-style-type: none"> 1 前期中間・後期中間試験は実施しませんが、理解度を高めるため課題を出す予定です。 2 いかなる理由があっても、授業開始より15分以上遅れた場合、欠席となります。 3 学年末評価が50～59点の場合再評価(補講と筆記試験)の対象となります。その試験が60点以上であれば単位取得となります。 	
自己学習の進め方	<ol style="list-style-type: none"> 1 必ず事前に教科書を精読しておいてください。 2 ノートの作成(墨字・データなど)を行ってください。 3 わからない点があればそのままにせず、教官に質問するなど知識の整理にとめてください。 	
使用教科書	医療と関係法規(改訂第7版)、岡村文夫・芦野純夫編、東京点字出版、2017年	
参考書/参考資料	なし	

令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	東洋医学概論 I	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年A組	
担当教官名	天野 光二	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者として必要な東洋医学の基本的概念、東洋医学的な形態感と機能感、病因病機、診断法、診察法並びに治療法の基礎的な事項を学びます。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 東洋医学の基本的な特色を述べるができる。 2 気血津液・臓腑の基本概念と生理機能について説明することができる。 3 病因病機(三因と疾病の発生)を説明することができる。 4 診断法(病証論)を説明することができる。 5 診察法(四診)を説明することができる。 6 東洋医学的な治療法の概要を述べるができる。 	
授業計画	前期計(15週)	前期計30時間
	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 東洋医学の基礎(東洋医学の意義、陰陽論、五行論) 3 気血津液の概要 4 六臓六腑(臓腑の概要と生理機能) 5 病因論(内因・外因・不内外因、三毒説) 	<ol style="list-style-type: none"> 1 6 7 9 7
授業計画	後期計(15週)	後期計30時間
	<ol style="list-style-type: none"> 6 病証論(八綱病証) 7 病証論(気血津液病証) 8 病証論(臓腑・経脈病証) 9 東洋医学的診察法と証の立て方 (四診、八綱・気血津液・臓腑弁証) 10 治療法(手技療法、鍼灸療法、湯液) 	<ol style="list-style-type: none"> 6 7 7 9 1
実務経験の有無 その活かし方	有 はり師、きゅう師 病院や鍼灸施術所での勤務経験を活かし、実践を踏まえて教授します。	
成績評価の方法	前期末と後期末に筆記試験を実施し、その平均点を学年末評価とします。学年末評価60点以上が単位修得の条件です。試験の出題形式は択一式・選択式・記述式とします。	
履修上の留意点	各学期の中間期など必要に応じて形成評価を行います(学年末評価には影響しません)。経絡経穴概論 I の内容も学習範囲に含まれます。	
自己学習の進め方	予習は、教科書を事前に一度読むことをお勧めします。内容の意味がわからなくてもかまいませんので、とりあえず声に出して読んでみてください。読めない漢字は飛ばしていいです。 復習は、もう一度教科書を読んでください。その時は、ある程度内容が理解できていることを確認してください。	
使用教科書	基礎理学学 I (東洋医学概論) 改訂第7版、オリエンス研究会著、岡山ライトハウス、2021年	
参考書/参考資料	新版 東洋医学概論、東洋療法学校協会編、医道の日本社、2021年 針灸学(基礎編)、日中共同編集、東洋医学出版社、1992年	

令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	経絡経穴概論 I	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年A組	
担当教官名	金本 浩忠	
修得単位数	3単位	
年間授業時数	90時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	経絡経穴の基礎、正経十二経と督脈・任脈に付属する経穴の名称と部位について学びます。 既習の知識を活かし施術を適切かつ効果的に行う能力と態度を修得します。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 経絡と経穴の概念について説明できる。 2 陰陽、臓腑、経絡の関係を理解し説明できる。 3 十四経の名称、流注及び所属経穴を理解し説明できる。 4 骨度法、同身寸法の概念を理解しそれを用いて人体に取穴することができる。 5 主要経穴について理解し、解剖学と関連付けながら取穴することができる。 	
授業計画	前期計 (15週)	前期計45時間
	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 経絡経穴の基礎 <ol style="list-style-type: none"> (1) 経絡・経穴の誕生 (2) 臓腑の概要 (3) 経絡の概要 (4) 経穴の概要 3 経脈・経穴 <ol style="list-style-type: none"> (1) 経穴の取り方に必要な用語 (2) 十四経脈とその経穴 <ol style="list-style-type: none"> ① 督脈 ② 任脈 ③ 手の太陰肺経 ④ 手の陽明大腸経 ⑤ 足の陽明胃経 ⑥ 足の太陰脾経 	1 1 1 1 2 2 5 5 3 5 14 5
	後期計 (15週)	後期計45時間
	<ol style="list-style-type: none"> ⑦ 手の少陰心経 ⑧ 手の太陽小腸経 ⑨ 足の太陽膀胱経 ⑩ 足の少陰腎経 ⑪ 手の厥陰心包経 ⑫ 手の少陽三焦経 ⑬ 足の少陽胆経 ⑭ 足の厥陰肝経 4 経絡・経穴の現代的な研究 <ol style="list-style-type: none"> (1) 経絡現象 (2) 経穴の概念と現代科学的研究 	3 4 13 4 2 4 8 3 2 2
実務経験の有無 その活かし方	有 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師 医療機関での臨床経験を活かし、経絡経穴の臨床的意義、重要性及び必要性を交えながら指導します。	
成績評価の方法	理教教育実施細則に基づき、前期・後期期末試験の平均点を学年末評価とします。 (小数点第1位は切り捨て)	
履修上の留意点	原則、あん摩マッサージ指圧師国家試験の出題基準を考慮した講義を中心に行います。6月、11月の2回、形成的評価のため中間試験を実施します。	
自己学習の進め方	経穴の名称・部位を暗記するだけでなく、正確に取穴できるよう普段から積極的に身体に触れることを心がけてください。また、東概 I 及び解剖 I において学習したことと関連づけながら復習してください。	
使用教科書	新版 経絡経穴概論 拡大版第2版、日本理療科教員連盟・東洋療法学校協会編、医道の日本、2022年	
参考書/参考資料	授業で必要に応じて配布または紹介します。	

令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	あん摩マッサージ指圧基礎実習 I	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年A組	
担当教官名	田端 里美	
修得単位数	4単位	
年間授業時数	120時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	あん摩の沿革、施術者としての注意事項、基本手技、全身あん摩(座位・側臥位・腹臥位)などについて学習します。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 施術者としての注意事項(身だしなみ・真摯な態度・言葉遣い・揉み返しや骨折の回避・衛生管理など)について、説明・実行できる。 2 施術部位の術式について説明・実行できる。 3 施術部位の揉捏法などの漸増漸減圧や骨及び筋の触診が的確に行える。 4 全身あん摩を適切な時間内に行える。 	
授業計画	前期計(15週)	前期計60時間
	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション、施術者としての注意事項、あん摩の沿革 2 施術部位の名称基本手技 3 座位のあん摩 <ol style="list-style-type: none"> (1) 肩背部のあん摩 14 (2) 頸部頭部のあん摩 14 (3) 上肢のあん摩 14 4 輪状母指揉捏法 6 ※前期中間試験 2	
	後期計(15週)	後期計60時間
	<ol style="list-style-type: none"> 5 側臥位のあん摩 <ol style="list-style-type: none"> (1) 上半身 12 (2) 下半身 12 6 腹臥位の仕上げ <ol style="list-style-type: none"> (1) 上半身 13 (2) 下半身 13 7 座位の仕上げ 8 ※後期中間試験 2	
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	<ol style="list-style-type: none"> 1 理療教育実施細則に基づき、前期末・後期末の平均点を学年末評価(小数点第1位は切り捨て)とし、60点以上で単位修得となります。 2 学年末評価が60点未満の場合、単位修得できず原級留置となります。 3 中間試験は形成的評価として実施します。 	
履修上の留意点	<ol style="list-style-type: none"> 1 リスク管理・衛生管理に十分配慮しましょう。特に母指圧の力度は被術者に合わせましょう。 2 骨・関節・筋などは解剖学と関連するので、十分学習しましょう。 3 人に不安や不快感を与えるような身だしなみ・言葉遣いをしないようにしましょう。 	
自己学習の進め方	<ol style="list-style-type: none"> 1 日ごろから母指の鍛錬を行ってください。 2 予習は事前に施術部位の術式を暗記してください。 3 復習は各自、授業で習った部位の施術練習を行ってください。 	
使用教科書	理療基礎実習(第2版)、東京都文京盲学校理療研究会著、日本ライトハウス、2019年	
参考書/参考資料	必要に応じて配布します。	

令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	あん摩マッサージ指圧基礎実習Ⅱ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年A組	
担当教官名	皆川 剛	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	術式は教科書を基本として、医療マッサージの基礎的な技術と能力の根底を学びます。保健医療を始め各種適応疾患に対応できるようになるためのマッサージの基礎を上級学年に繋がるように学びます。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 手技治療法としてのマッサージの歴史や意義を理解することができる。 2 マッサージの基本手技と術式を理解し、習得・習熟することができる。 3 身体の使い方(重心移動)を習得することができる。 4 身体各部位の手技・術式の基礎を習得することができる。 	
授業計画	前期計(15週)	前期計30時間
	1 オリエンテーション、マッサージ施術への導入(総論) (1) マッサージの概要	2
	2-1 マッサージの基本手技 (1) 軽擦法 (2) 圧迫法 (3) 揉捏法 (4) 叩打法	2
	3 身体各部のマッサージ (1) 前腕 (2) 下腿 ※復習と評価	6 12 8
後期計(15週)	後期計30時間	
	2-2 マッサージの基本手技 (5) 按捏法(強擦法)	2
	5 各関節のマッサージの施術 (1) 手関節 (2) 足関節 (3) 肩関節 (4) 膝関節	4 4 4 8
	6 顔面のマッサージの施術 ※復習と評価	4 4
実務経験の有無 その活かし方	有 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師 20年以上の臨床経験を活かして、実践的かつわかりやすい指導を行います。	
成績評価の方法	理療教育実施細則のに基づき、前期末、後期末評価の平均点を学年末評価とします。(小数点第1位は切り捨て) 評価は、前後期末試験の週までに実技試験を実施します。	
履修上の留意点	6月、11月の2回、形成的評価のため中間試験を実施します。	
自己学習の進め方	予習よりも復習が中心となります。既習の内容について、関連科目の内容も含めて振り返り、特に実技は繰り返し行うことです。	
使用教科書	<ol style="list-style-type: none"> 1 理療基礎実習(第2版)、東京都立文教育学校理療研究会著、日本ライトハウス、2019年 2 基礎保健理療Ⅱ(保健理療理論)、東京都立文教育学校理療研究会著、日本ライトハウス、2014年 	
参考書/参考資料	必要に応じて配布します。	

令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	はりきゅう基礎実習 I	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年A組	
担当教官名	松本 元司	
修得単位数	3単位	
年間授業時数	90時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	はり施術に関する基礎的な知識と技術について学びます。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 施術におけるリスクについて説明し、安全に施術することができる。 2 刺鍼法(管鍼法)について説明・実践することができる。 3 身体各部の主な経穴を取穴して刺鍼することができる。 4 現行17刺鍼術について説明し、実施することができる。 	
授業計画	前期計 (15週)	前期計45時間
	<ol style="list-style-type: none"> 1-1 オリエンテーション、施術への導入 2-1 施鍼の基礎 3-1 基本手技 片手挿管を習得させ、立位で刺鍼以外の動作を連続して行えるようにする。 4-1 身体各部への刺鍼(寸3・3番鍼、寸3・2番鍼) <ol style="list-style-type: none"> (1) 自身の下腿 (2) 下腿部 (3) 前腕部 5-1 主な経穴への刺鍼 	2 8 15 10 10
	後期計 (15週)	後期計45時間
	<ol style="list-style-type: none"> 1-2 施術への導入 2-2 施鍼の基礎 3-2 基本手技 片手挿管を習得させ、立位で刺鍼以外の動作を連続して行えるようにする。 4-2 身体各部への刺鍼(寸3・2番鍼、1寸・1番鍼) <ol style="list-style-type: none"> (1) 前腕部、(2) 腰部、(3) 背部、(4) 肩関節部、 (5) 頸部、(6) 頭部、(7) 胸腹部、(8) 顔面部、 (9) 膝関節周辺 5-2 主な経穴への刺鍼 	2 8 15 10 10
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、前期・後期期末試験の平均点を学年末評価とします。また、随時評価を実施し知識・技術を確認して必要により学習支援を行います。	
履修上の留意点	<ol style="list-style-type: none"> 1 清潔な環境の維持 2 体調管理 3 インシデントの予防と注意 	
自己学習の進め方	毎回の授業で基本手技を繰り返し練習し技術の向上を確認していきます。生体を使用した刺鍼練習は医療事故防止のため授業内のみとして自己練習は、必ず刺鍼練習器を使用するように指導を行います。	
使用教科書	理療基礎実習(第2版)、東京都文京盲学校理療研究会著、日本ライトハウス、2019年	
参考書/参考資料	鍼灸基礎実習ノート、森英俊著、医歯薬出版、2009年	

令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	はりきゅう基礎実習Ⅱ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年A組	
担当教官名	今泉 正博	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	きゅう施術に関する基礎的な知識と技術及び施術者としての基本的態度について学びます。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 施術におけるリスクについて説明し、安全に施術することができる。 2 透熱灸(艾炷の作成)と知熱灸について説明し、作成することができる。 3 身体各部の主な経穴を取穴して安全に施灸することができる。 4 各種温灸法について説明し、安全に実施することができる。 5 施術者として基本的態度について説明でき、実施することができる。 	
授業計画	前期計 (15週)	前期計30時間
	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション(実習室の環境認知を含む) 2 施術への導入(リスク管理) 3 施灸の基礎 4 基本的施灸法 <ol style="list-style-type: none"> (1) 透熱灸法 (2) 知熱灸法 (3) 隔物灸法 	1 2 1 10 10 6
授業計画	後期計 (15週)	後期計30時間
	<ol style="list-style-type: none"> (4) 温灸器具を用いた灸法 (5) 身体各部への施灸 (6) 主な経穴への施灸 (7) 施灸による全身調整法 	8 10 10 2
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	前期末と後期末に実技試験を実施し、その平均点を学年末評価とします。各学期の中間期に、平常授業時での観察法により形成評価を行います。	
履修上の留意点	自身の体調管理に留意するとともに、身体や白衣を常に清潔に保つことを心がけること。 授業計画は法定授業時間数を基準に適宜、進捗状況により時間数を増減します。	
自己学習の進め方	予習は、適宜教科書を読んでください。復習は、事故や防災等に留意し、原則として実習室で行い、実習室以外では点火器具を使用しないこと。なお、授業時間以外の事故については自己責任になります。 ※「理療教育における施設や設備の利用等マニュアル(利用者向け)」第8章授業時間以外に実技練習を行うときの注意事項参照	
使用教科書	理療基礎実習(第2版)、東京都文京盲学校理療研究会著、日本ライトハウス、2019年	
参考書/参考資料	鍼灸基礎実習ノート、森英俊著、医歯薬出版、2009年	

令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	あん摩マッサージ指圧師基礎実技Ⅲ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年A組	
担当教官名	岩本 稔、絹見 昭洋	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者として必要な知識と技能を学びます。また指圧の基本手技を習得します。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 施術者としての態度・心構えを身につける。 2 指圧の基本手技・体重移動を習得する。 3 施術を行う上でのリスク管理、患者への配慮を身につける。 	
授業計画	前期計(15週)	前期計30時間
	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション、導入(指圧の意義、沿革、身体各部の名称など) 2 基本手技の紹介(通常圧、持続圧、衝圧、緩圧、吸引圧、母指圧、四指圧、手掌圧など腰部仙骨部で行う) 3 施術を行う上でのリスク管理について(胸当ての未使用や衝圧による骨折の危険性、ベッドの昇降時の声掛けによる転落防止等) 4 全身指圧操作の基本術式(1手技2回で行う。) ※前期中間試験	2 2 1 23 2
授業計画	後期計(15週)	後期計30時間
	<ol style="list-style-type: none"> 5 前期の続き(全身指圧操作の基本術式(1手技2回で行う。)) 6 全身指圧操作の基本術式(1手技2回で行う。時間は80分～90分。) ※後期中間試験	22 6 2
実務経験の有無 その活かし方	有 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師 ※両担当者共に実務経験あり 病院・接骨院・ヘルスキーパーでの経験を活かし患者さんに合わせたリスク管理のもと安全かつ効果的な指導を行います。	
成績評価の方法	平常授業時は観察記録法により平常評価します。各学期末には実技試験を行い、平常評価と合わせて総括的評価とします。なお、理療教育実施細則に基づき、前期・後期末評価の平均点を本科目の学年末評価とします。また、各学期の中間期に中間試験を行い形成的評価とします。	
履修上の留意点	自身の健康管理に留意するとともに、身体や白衣を清潔に保ちましょう。施術中はクラスメートを患者と想定した態度・言動で臨みましょう。各学期の中間期の実技試験は、形成的評価とし、8時間行います。予定授業時間数は、前期30時間、後期30時間の計60時間です。授業計画は法定授業時間数を基準とし、適宜、進捗状況により各項目の授業時間数を増減します。	
自己学習の進め方	予習は、教科書をよく読んでおいてください。復習は、事故や防災等に留意し、原則として実習室で行ってください。なお、授業時間以外の事故については自己責任になります。※「理療教育における施設や設備の利用等マニュアル(利用者向け)」第8章授業時間以外に実技練習を行うときの注意事項参照	
使用教科書	理療基礎実習(第2版)、東京都文京盲学校理療研究会著、日本ライトハウス、2019年	
参考書/参考資料	資料は必要に応じて配布します。	